

(単元)南北アメリカの発展

(本時のねらい)

2年時より授業の前半に単元の全体像を見るために、教科書を読んでワークの空欄補充を行い、その時間の要点を板書でまとめて確認するというスタイルをとっている。当初は意欲に欠け、ワークの空欄補充もままならなかったが、次第に不明な箇所は席が近いもの同士で確認したり、質問したりするなど積極的な姿勢を身につけている。残り少ない世界史Bの授業では、前後の時代との因果関係や同時代の他地域との関係を考えるという歴史的思考力を身につけることを目標にする。世界の一体化が加速する時代であるため、総合的に考える視野が必要になってくる。また19世紀半ば以降になると写真資料や現代史に関連するエピソードも増えてくるため、生徒にとってより具体的に歴史的事象の理解がしやすくなる。前後の時代の歴史的事象との関連性を確認しながら、19世紀の南北アメリカ大陸について幅広い視野で理解することを促したい。

(ICT活用方法)

世界の一体化が加速する時代であるため、総合的に考える視野が必要になってくる。また19世紀半ば以降になると写真資料や現代史に関連するエピソードも増えてくるため、生徒にとってより具体的に歴史的事象の理解がしやすくなる。前後の時代の歴史的事象との関連性を確認しながら、19世紀の南北アメリカ大陸について幅広い視野で理解することを促すために、ICTを活用したい。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入	・前時の復習をすすめる。		・前時に行った「アメリカのイメージ」をスライドで見て、意識を共有する。	
展開	・教科書を読み、ワークブックの空欄補充をすることで本時の全体像を把握する。 ・南北戦争後のアメリカ合衆国の特徴を理解する。	・教科書の内容や資料集を参考に空欄補充を促す。 ・共和党政権は南部を軍事占領し再建に努めたが、その下で政治的に南北間の格差が埋ま		

	<ul style="list-style-type: none"> ・南北戦争後，アメリカ合衆国が大国として成長した背景・要因について考える。 ・国内の統一後，アメリカは太平洋・アジア地域に進出を本格化したことについて知る。 	<p>らなかつたことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部諸州では政治・経済・社会のあらゆる面で，人種隔離的な待遇が進められたことを説明を通じて理解させる。 ・多くの問題点がありながらも，アメリカ合衆国が南北戦争後に，なぜ大国として成長できたのか考察させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドで人種別にもうけられた水飲み場やK K Kの写真を見せ，人種隔離が進んだ様子を理解させる。 ・サンフランシスコのチャイナタウンのスライドを見せ，進出するとともに，アメリカにもアジア系の移民が増加したことを理解させる。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・現代のアメリカ合衆国の基礎が，南北戦争後に形成されたことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の冒頭に触れた現代のアメリカ合衆国の状況・問題を本時の内容と照らし合わせて，理解を促す。 		

(導入時に用いたスライド)

(展開時に用いたスライド)

(展開の後半に用いたスライド)



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

生徒自らが持っていたイメージと，19世紀以降，アメリカ合衆国を中心に南北アメリカが発展したことを結びつけることで，関心を高めることができた。また写真・絵画資料を適切に活用して，南北アメリカの発展の理解につなげることができた。この授業後も19世紀の南北アメリカの発展について，現代の南北アメリカの課題と照らし合わせて考えていきたい。